

# よむよむ

十日町情報館 〒948-0072 十日町市西本町2丁目1番地1  
 TEL: 025-750-5100 開館時間: 午前9時～午後7時  
 休館日: 第2・4月曜日、特別整理期間、年末年始(12/29～1/3)  
 各分室の開館カレンダーは、「WebOPAC」のウェブサイトでご確認ください。

WebOPAC



Instagram



## 蔵書点検のため休館します

6月8日(月)～16日(火)

蔵書点検は、情報館・分室に所蔵する資料の一斉点検です。約26万点の全資料を確認し、行方不明の資料を探す、蔵書構成を見直すといった大切な作業を行います。休館中はご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



休館中の返却は、情報館、川西・松代・松之山分室ではブックポストをご利用ください。CD・DVD・ビデオや大型絵本、相互貸借資料は、休館明けの6月17日(水)以降にカウンターでお返しください。それ以外の分室では、各公民館の窓口にお返しください。

## 閉架書庫公開

【令和8年度公開日】(すべて日曜日)

7/19、8/16、9/20、10/18、11/15、3/14

午後2時～5時(最終受付4時30分)

公開時間中は随時受付しています。ご希望の方は1階カウンターまでお越しください。定員はありませんが、混雑時には少しお待ちいただく場合があります。



いつもは入ることができない閉架書庫の資料を手に取り見たり、もちろん借りることもできます。



## こどもの読書普及功労者表彰!

### 高橋しげ子さん

十日町市内を中心に小学校教諭として務めた後、読書出前授業や読み聞かせの派遣などの活動を行ってきた高橋しげ子さんが、第68回こどもの読書週間に合わせて行う「こどもの読書普及功労者表彰」を受けられました。教諭時代から読書の大切さをこどもたちに伝え、校長最後の年は「図書委員会サミット」の開催を提唱。市内の小中学校の図書委員会が交流する場を設け、夏休み前の恒例行事となっています。中条小学校へ10年以上継続して図書を寄贈するなど、地域のこどもたちに読書の輪を広げています。



## 【令和8年度 情報館主催 パソコン講習】

### まるで初心者コース

電源の入れ方や文字の入力、マウス操作やインターネットの楽しみ方を学びます。

日程/6月18日(木)、23日(火)

25日(木)、30日(火) ※全4回

午後1時30分～3時30分

対象/はじめてパソコンにさわる人

### ワード初級コース

イラストや写真の入った案内文書などを作成します。

日程/7月14日(火)、16日(木)

21日(火)、23日(木) ※全4回

午後1時30分～3時30分

対象/文字入力、マウス操作ができる人

↓両コースともに共通

受講料/5,000円(テキスト代込み)

会場/情報館1階 コンピュータ研修室

定員/先着11人

申込み/専用チラシの申込用紙に記入してお持ちください。

電話・FAXでも可



## ご寄贈いただきました!

十日町情報館では、22年前の2004(平成16)年10月23日に発生した中越大地震でスプリンクラーが破損したことにより、約7,000点の本・ビデオテープが水に濡れて廃棄処分となりました。このことに心を痛めたAさんは、翌年から毎年、情報館に本を寄付してくださっています。今年も一般書・児童書ともに多様な資料をいただきました。貸出もしています。ぜひお手に取ってごらんください。



児童図書(1F)



一般図書(2F)

## 6月のおはなし会 ( )内は対象、時間はすべて10時30分から

### ●情報館

6月6日(土)／おはなし「たまたまばこ」(乳幼児)  
20日(土)／読み聞かせの会 どんぐり  
(幼児～小学校低学年)  
27日(土)／おはなしぴよぴよ(乳幼児)

### ●川西分室

6月20日(土)／おはなしの会「ふきのとう」  
(乳幼児～小学校3年生くらい)

### ●松代分室

6月はお休みです

## 本のチカラ (26) 子ども読書活動推進コーディネーター 林 篤子

～朝の読み聞かせで、『一房の葡萄』を読みました～

4月末に、中条中学校の全校生徒さんに向けて、朝の読み聞かせに行きました。ひんやりとした朝の体育館で、生徒の皆さんはきちんと整列して座り、静かに待っていてくれました。

『一房の葡萄』は、私自身が読むたびに学びや気づきがあり、中学生のみなさんにぜひお届けしたいお話の1つです。100年も前に書かれたお話ですので、「帆前船」<sup>ほまえせん</sup>、「舶来」<sup>はくらい</sup>、「洋紅色」<sup>ようこうしよく</sup>、「教場」<sup>きょうじょう</sup>、「雑記帳」<sup>ざつきちょう</sup>など、今ではなじみのない言葉も使われています。けれど、丁寧に書かれた文章は、情景を想像しやすく、生徒のみなさんもお話の世界にすっと入り込んでいるようでした。

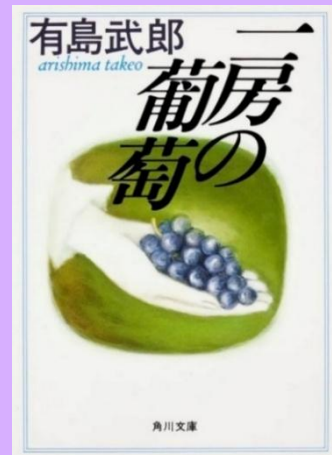
後日、生徒のみなさんの感想をいただきました。主人公の気持ちになって共感したり考えたりしている生徒さんの感想を拝読しますと、時代が変わり、世の中がどんなに変わっても、大切なことや人の本質は変わらないのだと感じます。

「ただ注意をするのではなく、先生のジムに対する接し方こそが、本当に生徒のことを思った行動だと思った。」という、ある生徒さんの感想が印象的でした。

SNSなどで、すぐに誰かを責めたり、炎上したり、圧力をかけたり、追い詰めたり、そんな風潮がある昨今、人と人とが誠実に向き合い、赦し合い、信じ合える、そんな気持ちの通った温かい世の中であってほしいと願います。膨大な情報の中に置かれ、AIに翻弄され、「タイパ」、「コスパ」が重視されがちですが、特に成長過程にある子どもたちには、人間らしく心豊かに生きるとは、ということなのかを、静かに考える時間が大切だと感じます。

朝の20分間、お話の世界に浸り想像力を膨らませ、自分の力で深く考えることは、心を整える効果があると思っています。

今後も『一房の葡萄』を読みつないでいきたいと思います。ご興味のある方は、是非手に取ってご一読ください。



『一房の葡萄』有島武郎／著  
角川書店(913.6ア) テーマ児童7

## テーマ図書 新しい本との出会いに♪

**一般** 「本で旅する」「食を楽しもう」「追悼 佐藤愛子さん」  
「坂口安吾生誕120年」「もっと知りたい西洋絵画」など

**児童** 「わくわくおでかけ」「おいしくってしあわせ」  
「生誕100年 安野光雅&かこさとし」など

※時期・内容は変更する場合があります。

### 家読(うちどく)の日

「家読(うちどく)」は「家庭読書」の略で、「家族ふれあい読書」の意味です。毎月第3日曜日は家族で読書を楽しみましょう。6月は21日です。情報館の本をお役立てください。